

「シュルレアリスムと日本」展

板橋区立美術館

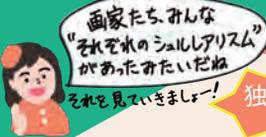
イラスト・構成：杉全美帆子



●シュルレアリスムとは？

フランス発
夢 無意識
の世界を描いた。
だから不思議な絵が多い

夢や無意識の世界を探求することを目的とするシュルレアリスムは今から100年前、フランスで生まれた



独自性・不可解度 No.1!

●代表的な画家

エルンスト 技のデパート!

トロける時計で「ダリ」を探索!

フランス帰り! シュルレアリスムの本も出版
福沢はエルンストのコラージュからヒントを得た絵画を発表。これまでにない絵に若者たちが夢中に!

※コラージュとはいろいろな素材を貼り付けて作品をつくること

フランス帰り! シュルレアリスムの本も出版



戦前



戦中

《眼のある風景》1938年、東京国立近代美術館



目を持つ塊は木か、はたまた動物か…。じっとこちらを見つめる目はどこまでも鑑賞者を追いかけてくるかのよう。描いて、削って、画面の仕上げにも注目の作品

巖光は木の根やキジ、昆虫など、じっくり見てリアルに描くことが得意。絵の道具も自分で工夫していた



高い描写力

すぎまた ただし
杉全直
(1914-94)

《跛行》の翌年に召集



杉全は東京美術学校（今の東京芸術大学）の学生だったが、学校ではシュルレアリスム絵画は禁止されていたため、福沢の研究所に通い、友だちとグループを作って発表していた

戦中

《跛行》1938年、姫路市立美術館



日中戦争が始まり、絵を自由に発表することが難しくなってきた頃の作品。いくつも描き込まれた松葉杖は不安定なままに進む時代の様子を表している



強いメッセージ性

やました きくじ
山下菊二
(1919-86)

自分が何者か考える時、福沢一郎に学んだことが大きかったよ

20歳で戦地へ向かった山下は、その前に1年しかシュルレアリスムの絵を描けなかった。戦後は反戦・社会問題をテーマに描き続けた



戦後

《新ニッポン物語》1954年、日本画廊



アメリカの支配下にある日本を痛烈に風刺した作品